



羅臼町議会だより



しれとこ

委員会構成決定	2
第2回定例議会・第4・5回臨時会	4
一般質問	6
道内視察・研修	12

平成23年

第**130**号

8月10日



マッコウクジラ
(有)知床ネイチャークルーズ提供

新しい議会がスタートしました！

4月24日、統一地方選挙で選出された
10人で新しい議会が動き始めました。

議会のしくみ

※定例議会・臨時議会

定例議会は年4回、3月・6月・9月・12月に行われる。

臨時議会は、必要に応じて開催され、ともに町長が招集する。

◎常任委員会

議会が一定の部門の事務に関する調査及び議案、陳情等の審査を行わせるため条例で定め、常設する委員会。羅臼町には、総務民生常任委員会と経済文教常任委員会の2委員会で構成されている。

◎議会運営委員会

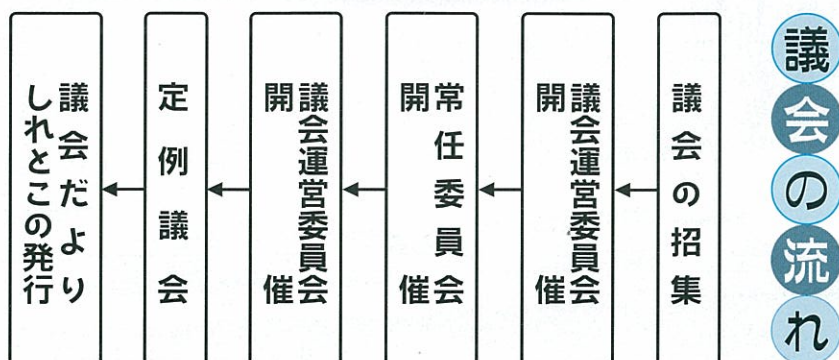
円滑な議会運営を期するため、議会運営全体について協議し、意見調整を図る場として設立された委員会

◎議会だより編集特別委員会

議会の審議及び活動状況を住民に周知させるため広報を発行する委員会

◎特別委員会

特定事件を審査するために設置された委員会が必要に応じて設立される。



議長就任のあいさつ

羅臼町議会議長 村山 修一

五月十日開催、第三回臨時議会において議長に再任をいただきました。元より浅学非才ではありますが、公正・公平を旨として、その重責を果して参る決意を新たにしているところです。

今任期に於いては住民の皆さんに見える議会を目指して、議会改革を推進して行きたいと考えています。すでに議会運営委員会ならびに全員協議会で協議をしていたいただき全議員の賛同を得たところです。これまでも当議会は管内の他議会に先駆けて、改革

を押し進めて参りました。しかしながらこれまでの改革は町の財政悪化に起因する所が大きく、財政健全化を最優先課題として、議員定数削減等に取り組んできました。幸いにして、全町あげての努力が実を結び、数年間で危機を何とか脱出できる状況になってきました。現在、議会改革が全国の地方議会において行われていますが、それだけ住民の声に対する危機感を各議会が目指すは議員のための改革ではなく、町民のための議会作りです。議会の中で議論を積み上げながら、実践して参りたいと思っています。



副議長
松原 臣
58歳
(当選5回)

新

委員会構成 決定!



議長
村山 修一
59歳
(当選5回)



委員
村山 修一
59歳
(当選5回)



委員
小野 哲也
44歳
(当選3回)



委員
佐藤 晶
61歳
(当選5回)



副委員長
田中 良
57歳
(当選2回)



委員長
坂本 志郎
62歳
(当選3回)

総務民生常任委員会



委員
松原 臣
58歳
(当選5回)



委員
高島 讓二
60歳
(当選2回)



委員
鹿又 政義
60歳
(当選5回)



副委員長
高村 和史
65歳
(当選2回)



委員長
湊屋 稔
48歳
(当選2回)

経済文教常任委員会

議会議員
議会議員
議会議員
議会議員

村山 修一
松原 臣
坂本 志郎
田中 良

根室北部廃棄物処理広域連合

議会議員
議会議員
議会議員
議会議員

村山 修一
松原 臣
湊屋 稔
佐藤 晶

根室北部消防事務組合

議会議員
議会議員
議会議員
議会議員

村山 修一
松原 臣
坂本 志郎
田中 良

根室北部衛生組合

委員長
副委員長
委員
委員

田中 良
高村 和史
坂本 志郎
湊屋 稔

議会運営委員会

会長
副会長
監事
監事

佐藤 晶
小野 哲也
坂本 志郎
湊屋 稔

羅臼町議会議員会



議会風景

平成23年 第2回定例議会

去る六月二十二日・二十三日の両日、第二回定例議会が行われました。報告四件、議案三件が提出され、すべて原案通り可決した。

平成二十三年度 目梨郡羅臼町一般会計補正予算

読書振興事業に要する経費

六〇万円

その他一般行政に要する経費

町有バスに要する経費

七五〇万円

一般旅券の申請受理交付に要する経費

二、八九四万円

知床らうす医療再生プロジェクトに要する経費

六十九万円

防災対策に要する経費

十九万円

デイサービス利用者宿泊ニーズ調査事業に要する経費

四八七万円

その他老人福祉に要する経費

一億七、九〇七万円

特別会計繰出金に要する経費

五万円

生活習慣病・がん検診に要する経費

五十六万円

予防接種に要する経費

八十八万円

栽培漁業研究に要する経費

十八万円

温泉ボーリング事業に要する経費

三三八万円

その他土木事業に要する経費

一四〇万円

中学校教育振興に要する経費

三十万円

合計 二億三、六七二万円

総額 38億6,588万円

平成二十三年度 目梨郡羅臼町介護保険事業特別会計補正予算

介護予防住宅改修に要する経費

三十六万円

- ・ 羅臼町過疎地域自立促進市町村計画の変更
- ・ 住民の安全・安心な暮らしを支える交通運輸行政の充実を求める意見書

平成23年 第4回臨時議会

去る五月二十四日、第四回臨時議会が行われ、原案通り可決した。

一、羅臼町課設置条例制定

二、羅臼町町税条例の一部を改正する条例制定

三、羅臼町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

四、羅臼町副町長の選任につき同意を求めることについて

住 所	氏 名	生年月日	任 期
北海道目梨郡羅臼町麻布町四十三番地	鈴木 日出男	昭和二十七年三月十八日	平成二十三年六月二十二日 平成二十七年六月二十一日

五、羅臼町監査委員の選任につき同意を求めることについて

住 所	氏 名	生年月日	任 期
北海道目梨郡羅臼町礼文町二五番地一	小野 哲也	昭和四十一年十二月十一日	平成二十三年五月二十四日 平成二十七年四月三十日

平成23年 第5回臨時議会

六月二十九日、診療所入札にともなう臨時議会が行われ、原案通り可決した。

一、工事請負契約の締結について

契約の目的

羅臼町国民健康保険診療所建設工事

契約の方法

公募型指名競争入札

契約金額

五億一、〇三〇万円

契約の相手方

廣木・島影・小川・鈴木・酒井 特定建設工事共同企業体

代表者

標津郡中標津町西七条北二丁目一番地

廣木建設株式会社

代表取締役 廣木

智



完成姿図

質 問

6議員による12件の質問
が提出され、町長・教育
長の考えを問いました。

地域産業の発展に ついて

小野 哲也 議員

今回の町長行政執行方針には、守りから攻めに転ずるとあるが、地域産業においてどのようにアプローチをしていくのか伺う。

町 長

各機関との連携を 密に活性化に取組 む

今年度、「産業活性化補助金」を創設し、産業活性化に向けた取組みを積極的に行う産業団体・グループ・個人を支援してまいります。

漁業については、昨年、イカが豊漁となりましたが秋鮭やスケソウは不漁となり、資源減少の要因となっている北方四島周辺水域におけるロシアトロール船の操業阻止について羅臼漁協と協議し、オール羅臼で関係機関に対し要請していく。水産業は、安定的な漁獲

が不可欠だが、減少傾向にある地場資源の有効活用と鮭節等に続く新たな商品開発を積極的に支援する。

観光業は、長引く景気低迷を続けているが、当町の豊かな自然と優れた水産業を生かし、関係機関と連携して、「体験型観光」や「エコツーリズム」の受入体制を強化し、積極的な誘致活動を進め交流人口の増加を図る。

商工業は、漁業や水産業の振興及び観光客の入込みが町内購買力増に直結するので、商工団体に要請活動や協議会等に積極的に参加していただくよう取組む。

また、道の駅周辺の本町通りを観光に結びつく施策を展開できるよう検討を進める。

防災計画について

小野 哲也 議員

ハザードマップや備蓄品の中身やそれ以外の計画などを伺う。



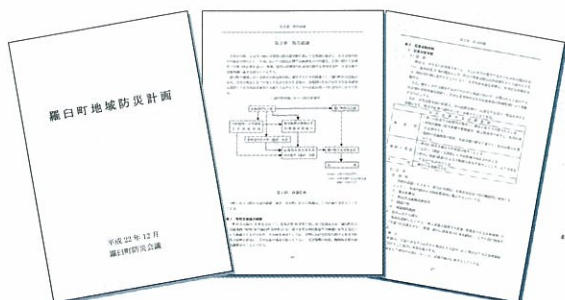
本町通り

又、その後、何を防災計画として行うか？

町 長

町民への防災意識 の高揚を図る

ハザードマップは、津波や土砂災害などのシミュレーション情報や避難場所情報等、町民が自主的に避難するための情報を掲載したものと、備蓄品は、毛布、



羅臼町地域防災計画

暖房器具、トイレ、トベーパー、給水パック、ラジオ型ライト等を計画的に整備する。

防災は「自らの身の安全を自らが守る」ことが基本であり、更なる自主防災組織活動の促進と町民の防災意識の高揚を図る。

平成23年6月定例議会



一般質問と答弁は 要約されています

議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。質問、答弁の全文について詳しくお知りになりたい方は、町役場総務課までお問い合わせ下さい。

羅臼町の災害対策 の現状をどのように に評価されるか

坂本 志郎 議員

当町の災害対策の状況は防災備蓄品がほとんどゼロ

であること、避難所が津波や大地震に対応できないこと、耐震対策がされていないこと、津波ハザードマップ未整備のため、津波避難計画に決定的不備があることそして福祉避難所がないため高齢者・障がい者・妊産婦・乳幼児・病弱者への対応ができないこと、併せて災害時要援護者支援の計画も不十分であると思われる。重要なことは、この現状を住民も含めて正しく認識し、計画的に対策することが求められます。

災害対策は時間とコストがかかりますが、大地震は明日起きるかも知れません。10m以上の津波に対応できない避難所をもつ町内は、七町内あります。

町の広報には、「山間部

へ避難して下さい」と書かれています。不親切です。各町内会と相談して、山のどこへ避難するのか、避難路を示した上で、簡易でも、階段設置の検討を行うべきと考えます。

町長

地域防災計画の見直しを行ってまいりたい。

当町の指定避難所は、公共施設も含め三十箇所あり、二十一施設は耐震化されています。

福祉避難所は災害時要援護者を受け入れる施設ですが、当町で福祉避難所として指定している施設はありません。今後、福祉避難所の対象となる人員の把握とともに、防災計画の見直しに併せ、福祉避難所の指定について検討します。

独居高齢者、災害時支援を要する高齢者世帯等の対応については、実態調査に基づき津波警報時の避難状況の確認等の対応をしてい

ますが、自主防災組織と連携し取り組みを進めます。災害対策の具体的計画については、北海道地域防災計画に併せて当町の防災計画の見直しを行ってまいります。

高齢者福祉・認知症サポーター養成を積極的に進めてはどうか

坂本 志郎 議員

今後、高齢化にともない増加すると考えられる認知症高齢者やその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくりのために、地域住民が認知症について正しく理解するため、行政として積極的に「認知症サポーター」の養成に取り組んではどうか。

町長

養成講座の周知を行ってまいります

認知症高齢者が増え続けることが予想されることか

ら、地域において認知症高齢者を見守り、支援する体制づくりは重要です。今後も町政だよりや各種の集まりを通じて、養成講座の周知を行なうとともに、民間が行なう養成講座に対して支援をしてまいります。



我町における、ハザードマップ作成に、過去の災害の検証と、これからの課題

高村 和史 議員

①我町は世界自然遺産を有する地域ですので、環境省や大学等の外部機関の協力を頂き、過去の伝承や地層堆積物の分析を行ない、想定される津波規模を調査する事も考えていく必要がある。

②ハザードマップ作成に、羅臼、標津、中標津各町の活断層を一部含む「標津断層帯」があり、かつての、阪神、淡路大震災を教訓に、我町も充分に視野に入れないければならない。

③我町の学校教育現場における防災教育の方向と課題と、中高一貫教育と言う当町の特色を生かした防災教育、成人を含めた社会防災教育等、教育委員会の考えや課題を含めて示して下さい。

町 長

地域防災・地震災害、津波災害対策計画の見直しを行う!!

①北海道では、津波対策の重要性を再検討し見直しを行っており、専門家の意見を聞きながら、各地域の、シミュレーションが平成二十三年度中に示される予定となっている。

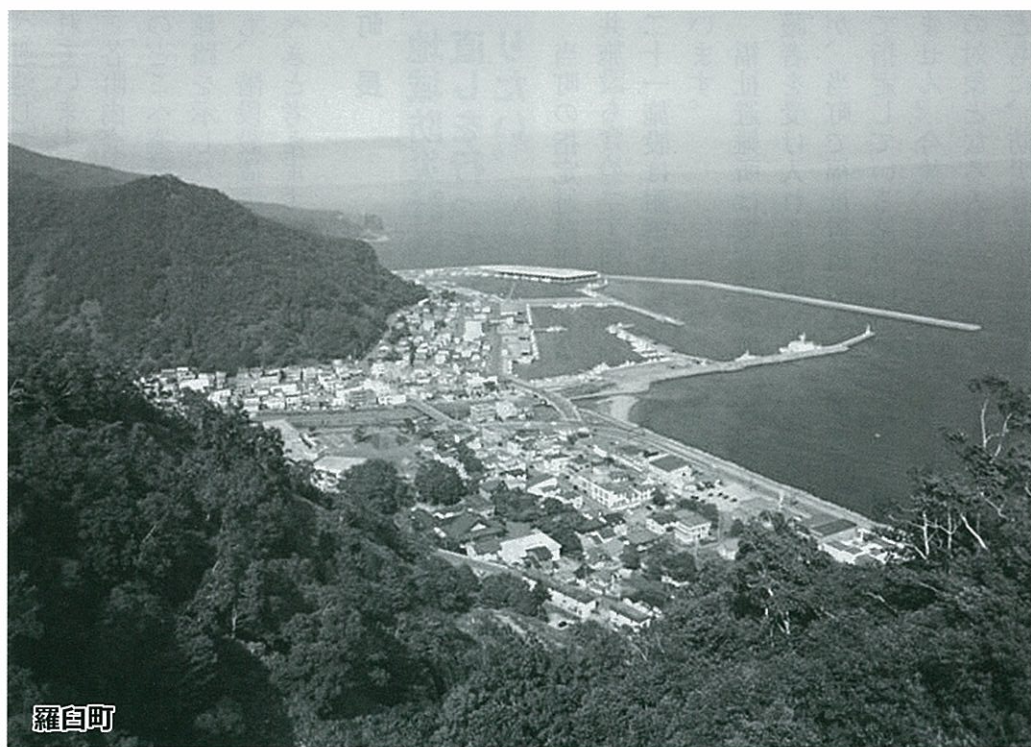
②標津断層帯は、具体的な活動履歴はなく、マグニチュード七・七程度以上の地震の発生の可能性もある。ハザードマップ作成時には、関係機関から情報を頂き、進めて行きたい。又、平成二十一年に「標津断層帯」を記載した「パンフレット」を全戸配布しております。

教育長

避難経路、自然災害から身を守る態度の育成!!

③園児、児童、生徒の安全を確保、学校経営計画の中に、地震、火災、不審者を

想定した避難方法又、年に二回以上の避難訓練の実施をしている。中高一貫教育の分野でも実際に被災された地域の情報も頂き社会教育の分野も含め、今後の防災教育の参考としたい。



羅臼町

地域医療・福祉について新しい当町の医療体制!!

高村 和史 議員

新しい診療所の建設と公設民営化の取組み、又特別養護老人ホームの計画、医療、保健、福祉の連携を含め、新しい診療体制又、高度の医療機器の導入で診療所会計を圧迫する事はないのか。

町 長

我町の医療ビジョンに沿った地域包括ケアの推進

新診療体制は、二十四時間初期救急対応と十九床の入院病床の再開の予定、又特別養護老人ホームの計画は町民の待望する所であるので計画を進めている。高度な医療機器導入に対しては、七十%相当額が交付税に算入されるので、診療所会計を圧迫する事はない。新しい診療体制については地域包括ケアを推進する。

「町長行政執行方針」 これからの、四年間 の町づくりは！

佐藤 晶 議員

二期八年の町政は、市町村合併、医療課題、財政課題に特に重点を置いた運営だったと理解するところで。しかし、これらの課題は町民の側とすれば幾分の不満として残った事は否めません。これからの四年間は守りから攻勢に転じた行政運営にと機構を見直し、企画振興課の新設等、町づくりに対する熱い思いを感じますが、目新しい事業内容が見受けられない。町長が柱と掲げる攻めの行政とは何か、又、中学校適正配置計画は任期中に中学校建設に向け実施する考えがあるか聞かせて頂きたい。

町長

町全体の活性化が 達成できるような 戦略を！

町民、議員の理解や職員との協力等により、懸案する課題に一定の見通しができたと認識、三期目を進めるにあたり、「町民が安心して暮らし元気で頑張れるまちづくり」を積極的、戦略的に進める必要があると感じている。従来の企画係は大課制のなかで機能を十分に果たせていなかった。新たな企画振興課は、まちづくりを戦略的に進めるシンクタンクとして、行政施策全体のプロデュース、或いは新たな施策の創造を主な目的としている。これから町の将来に有効であり重要と思われる施策を中心に定め、連鎖的に町全体の活性化が達成できるような戦略を進めたい。具体的には、「滞留人口、交流人口の拡大」道の駅周辺を核とした本町地区の再開発に向け関係団体等と検討を積極的に進める。又、診療所を「町民みんなの診療所」として守り育てていける動きをつくる施策の展開を進める。



診療所



独立した企画振興課

中学校建設は二十七年度を目途に関係者の意見を聞きながら準備を進めていく。

第六次社会教育中 期計画の策定に向 けて！

佐藤 晶 議員

社会教育の大切な視点の一つは人材育成です。特に「活力ある地域社会の形成に青年活動が果たす役割は極めて重要」と教育長執行方針にも述べているが、このことは過去から引き継いだ重要な課題である。具体的政策を示して頂きたい。

教育長

感動できる機会と 場の創出に！

具体的な取組みは、計画策定委員会の中で議論・検討することになる。少年期からの積み重ねが重要であり、中高一貫教育を進めている生徒会交流活動の中でリーダー研修を行い、地域活動につなげる人材育成の推進と、青年が感動できる機会の提供や、場の創出に努め、漁組や商工会等、指

導機関の職員間の連携を更に深めながら、各地域や職域における連帯感を持った青年活動の推進を目指し取り組む。



我町の資源、人的、物的宝とその活用について

田中 良議員

三期目は守りの行政運営から攻勢に転じた行政運営をしていきたいと考えているが、その行政運営とはどのような点に考えているのか二点について伺います。

(1)我が町の有形無形の資源とは何か、又その活用方法とは。

(2)町長がトップセールスマンとして「魚の城下町らしい」のアピールの方向性をどのように考えているのか。

町長

「ふるさと羅臼」の発展に努める

(1)羅臼町は世界にも認められた豊かな自然に恵まれ、その恩恵の中で一一〇年の営みを続けてまいりました。人的な資源につきましては、六千人の町民であり、羅臼をこよなく愛してくれるゆかりの人々が大切な宝であ

り、資源であると認識しております。又物質的資源とは世界にも認められた豊かで雄大な自然であり、羅臼が将来に亘って大事にしていかなければならない貴重な宝であります。次代を担う子ども達に繋いでいかなければならないものであると考えております。羅臼のまちづくりは、羅臼を支えている人的ネットワークを活用しながら、産業の発展、まちづくりを活かしていくことが重要と考えています。

(2)トップセールスマンの概念を二つの意味で捉えている。一つは、羅臼のまちづくりを担う関係機関や団体が町の目指す姿の共通理解にたち、同じ山の頂上に向けて邁進するためのリーダーの役割を果たすことであります。三期目に向けて更に積極的にトップリーダーとして町内をまとめ、「ふるさと羅臼」の発展につとめてまいりたいと考えています。もう一つは、その協力体制のもと、公共機関への要

望、知床羅臼の大自然や豊かな自然の恵みである特産品等を羅臼町の顔として全道、全国に向けて積極的にセールスしてまいりたいと考えています。その延長線上に国外も視野に入れ、アピール活動をすすめていけたらと考えています。



田中議員のその他の質問

- ・子ども達の教育に関わる支援策について
- ・子ども達の減少について
- ・乳・幼・小・中・高までの十八年間の教育計画は

- ・作成されているのか
- ・教育施設の適正配置計画はどのように考えているのか



春松中学校



羅臼中学校

町政はあなたのために!!
議会を傍聴してみませんか。



- * 町議会の定例会は年4回（3・6・9・12月）開きます。
- * 町議会の臨時会は必要に応じて随時開きます。

防災について再検証 が必要ではないか

高島 譲二 議員

三月十一日の東日本大震災により多くの方々が犠牲となり、甚大な被害をうけました。この事を教訓にわが町の防災の備えを再検証する必要があると思います。具体的な項目についてお聞き致します。

- ①避難場所の耐震対策は出来ているか。
- ②避難路の確保はされているか。
- ③園児・小中学生の避難方法は考えられているか。
- ④高齢者、障がい者の避難方法はどのようにされるか。
- ⑤避難所の備品、食糧の備蓄はどうなっているか。
- ⑥地震、津波に関する機器類は完備されているか。
- ⑦警報の聞こえない場所があるが、警報装置の設置は適切か。
- ⑧災害後の避難所との連絡についてどのような方法で行うのか。

⑨防災について統一したマニュアル作りが必要ではないか。

町 長

日頃の防災訓練の実施と地域の支援体制を構築する

- ①避難施設三十カ所のうち耐震化は二十一施設について行っている。
- ②避難路は各町内会の協力を得て検討する。
- ③春松地区において園児、小学生と合同で避難訓練を行っている。
- ④家族や町内会の防災組織の支援を頂く。
- ⑤備品購入の予算化をして補充する。
- ⑥北海道から瞬時に情報が入るシステムになっている。
- ⑦屋外用スピーカーを十二カ所に設置しておりカバーされていると認識している。
- ⑧専用回線を確保する事を検討する。
- ⑨防災計画に沿って対応していく。



防災警報サイレン



避難所の耐震化は？

行財政改革を更に 進める必要がある

高島 譲二 議員

旧病院時代の不良債務を解消したが今後、診療所の建て替えや中学校校舎の建替計画、水道管の老朽化による交換など大事業が控え、また昨年末より漁獲高の低迷によって町の経済の先行きに不安感があります。

一方、東日本大震災により国の財政は厳しい状況であり、町財政の収入減が予想されます。

このような中、行政の利便性、効率化、迅速化、住民サービスの図るために、更なる行財政改革を進める必要があると考えます。

この事から次の三点についてお聞きます。

- ①電子自治体（自治体クラウド）構想について、どのように捉えているか。
- ②新公会計制度の効果について。
- ③職員一人ひとりが費用対効果の意識（金額）だけでは

なく町民との接し方等も含む）を持つ事について。

町 長

少ない予算で最大の 効果を図る。

- ①電子自治体（自治体クラウド構想）については、システムの効率化、費用低減等を図る趣旨から有効な選択肢の一つと思われる。今後も費用対効果を勘案し検討を進める。
- ②新公会計制度については、財務四表を作成し、町の財務情報が明らかに、他の自治体、企業との比較もでき、予算編成や決算分析等に活用できると考えており、システムの確立に向けて準備中である。
- ③「財政健全化計画」のものと「危機意識の共有と徹底した行財政改革」、「行財政運営の抜本的見直し」、「町民との協働」の三点を掲げ、少ない予算で最大の効果を図るべく取り組んでいく。

道内視察

平成23年7月4日～7日

去る七月五日午後一時から開催された、北海道議会議員研修会に八名出席しました。

札幌コンベンションセンターにおいて、全道各地から町村議員が千名以上参加しました。

最初に東京大学先端科学技術研究センター教授御厨貴氏の「今後の政党政治の行方」という題名にて一時間三十分の講演を受けました。

講演の内容（要点のみ）

- ・人材と人材をつなぐ人材
- ・表と裏があってあんばいがあった時代と一変した（多数決で決する時代）
- ・若者世代が膨大な量の情報を操作していて情報の共有はするが質的な判断が疎い。新しい世代と新しいやり方をもって質の管理をしなくてはならない。

最後に数年後（五年）は大きな政治の変革を迎えるだろうと思う。この間は生みの苦しみである。

続いて午後三時から、経済評論家の内橋克人氏の「今後の日本経済展望」という演題で講演を受けました。

講演の内容（要点のみ）

日本経済の現況は不況の状態にある。予測としては三点あげられる。

- (1)現在の日本経済は分岐点である。
- (2)目指すべき方向性を決める
- (3)海外の良い例を取り上げて参考にすべきである。

(1)の要因

- ①グローバル（海外進出企業）とローカル（地元産業）との格差
- ②日本雇用力の衰弱
- ③TPPの導入阻止
- ④F・E・C
- Fはフード（農業・水産業）の自給率一〇〇%を目指す
- Eはエネルギー政策の見直し

Cはコミュニティの復興が必要

(2)の対抗策としてローカルアジェンダー（地方公共団体の行動計画）を取り入れ地域の目標を設定する。

(3)の一例としてIT情報化が進めば特定の企業の収益でなくなり全体に潤うことになる。

今回の講演を活かして、今後の議員活動に取り組んでいきます。



羅臼町議会道内研修と 札幌らうす会との懇談会

七月六日午前十時より、

北海道自治会館会議室において、北海道町村議会議長会事務局次長の村川寛海氏による講義を受けました。

テーマは、『議会改革』であり、北海道森町をはじめとする全国の事例をもとに、今なぜ議会改革なのかということを学びました。

そのほか、全国の議会基本条例・自治基本条例の制定状況や地方自治法の改正にもふれ、法律についての講義も受けることができました。

議会改革については、羅臼町議会としても取り組んでおり、一般質問の一問一答方式の導入や、町長の反問権などですが、今後より町民に開かれた解りやすい議会にするため、参加議員一同、あらためて議会改革の重要性を感じることとな

りました。

最後の質疑の中でも、活発な質問や意見がとびかい、議会のあり方についてや、町民の議会報告会などの開催についてなど決められた時間をオーバーするくらい熱心に行われた講義でありました。

その他、前日の午後からは、札幌らうす会の役員の方々と懇談会を大通西八丁目のイタリアンレストラン「サグラ」にて行いまし

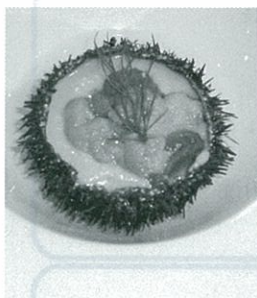


た。羅臼出身で札幌在住の方々から見た現在の羅臼町についてお聞きしましたところやはり自分の故郷であるし、大好きな町ですが、世界遺産であり、多くの美しい魚などがあるのに今一つ活かしきれていないような気がするという声が聞かれました。私達羅臼出身者も知床羅臼のPRをしますので羅臼の皆さんも頑張ってくださいと、逆に応援をいただきました。

このレストランには、事前に羅臼で水揚げされた魚貝類を送っておき、それを使ったコース料理をお願いしておきました。全十品の料理でしたが、羅臼産の魚が、こんな料理にできるのかと驚くほどのメニューでした。その店のオーナーシェフは、「羅臼産の魚は日本どころか世界に出しても一級品のものばかりです」と、大絶賛してもらいました。

羅臼産魚介を使用した 特別メニュー

- ・羅臼産ツブと長沼産万願寺とうがらし
- ・羅臼産まつかわカレイと長沼産フリーダム（きゅうり）のクルード
- ・羅臼産バフンウニと絹川茄子のクレマ



- ・羅臼産ガサ海老のグリーリア



- ・羅臼産ドスイカのタリエリーニ、バジリコ風味
- ・羅臼産げんげのスパゲッティ
- ・本物の賀茂茄子と足寄町の子羊の煮込みのショー

- トバスタ
- ・羅臼産トキシラズ瞬間スモークと加賀太きゅうり



- ・襟裳短角牛ローストと根曲り竹とカッチョヴァツ
-
- ・パンナコッタ、ハスカップのソースとサクランボのソルベ



※レストラン「サグラ」の村井シェフと
らうす会の人と一緒に！

議会の動き

5月

- 2日 議員協議会・当選議員研修会
- 6日 全員協議会
- 10日 第3回臨時会(初議会)
知床羅臼町観光協会通常総会 議長
- 13日 羅臼町商工会総会 議長
- 16日 管内議長会臨時総会 議長
さけ稚魚放流式 経済文教常任委員長
- 17日 原水爆禁止釧路地区協議会来庁署名 議長
- 18日 議会運営委員会・羅臼町連合町内会総会 議長
- 20日 経済文教常任委員会・総務民生常任委員会
- 22日 東京らうす会総会 議長
- 23日 全員協議会
- 24日 第4回臨時会
- 26日 羅臼消防団春季総合訓練大会 議長
- 30日 北海道横断自動車道促進期成会総会
- 31日 根室地方総合開発期成会・地域高規格道路整備促進期成会・教育振興会 等定期総会 議長

6月

- 1日 地域高規格道路整備促進期成会・中標津空港利用促進期成会 等定期総会 議長
- 2日 羅臼町議会議員OB会総会 議長
- 6日 消防組合・広域連合・北部衛生組合 等議会 議長ほか
- 9日 根室振興局長来庁 議長
- 10日 北海道議長会定期総会 議長
- 16日 議会運営委員会
- 17日 経済文教常任委員会
- 18日 第50回知床開き開会式 議長
- 19日 千人踊り参加
- 20日 総務民生常任委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日～23日 第2回定例会
- 26日 根室管内消防団員技能協議訓練大会 議長
- 27日 議会運営委員会
- 28日 総務・経済合同常任委員会
- 29日 第5回臨時会

7月

- 3日 森繁 建氏 来町歓迎会 議長
- 5日 全道議長会議員研修会
- 6日 羅臼町議会道内行政視察
- 14日 議会だより編集特別委員会
- 21日～22日 期成会要望行動(札幌・東京) 議長
- 25日 行政懇談会 正・副議長
- 27日～28日 ロシア・トロール船操業阻止要望行動(札幌・東京) 議長
- 27日 議会だより編集特別委員会

8月

- 1日 議会だより編集特別委員会
- 8日 行政課題に対する議員懇談会

叙勲おめでとうございます

～旭日双光章受賞～

この度、議会の
大先輩であります
下柵棚貢氏が永年
の功績が認められ
旭日双光章を受賞
されました。
心よりお祝い申
上げます。



議会だより編集特別委員会

委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
湊 屋	小 野	田 中	高 島
哲 也	良 二		



委員の抱負

委員長 高島 讓二

今春の改選後、前期と同じメンバーで議会だより編集特別委員会の任を務めさせていただく事となりました。

議会は町民の代表として役割を果たせるよう改革していく意向でございます。

また、議会だよりも広報の果たすべく役割を努めて参りたいと思っております。皆様のご意見等をお寄せ頂ければ幸いです。

副委員長 田中 良

議会だより発行に関わり今年度から二年間、町民の皆様方により多くの情報を発信して行政や議会の活動に町民の思いを反映させて行きたいと思えます。更にこの議会だよりを理解しやすく編集に努めたいと思います。

委員 小野 哲也

私が議会だよりに関わり、町村合併、春松小学校建設、そして地域医療の問題、診療所建設、特養建設など様々な問題に取り組んでまいりました。今後の問題においても町民へのわかりやすさを目指し、議会だよりづくりに取組んで参ります。

委員 湊屋 稔

議会の取り組みや議員活動の現状をよりわかりやすくお伝えするための紙面づくりに努力してまいります。この議会だよりを通じ、より多くの町民の皆様が、議会や行政の活動に感心と理解をもっていただければ幸いです。